

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	青少年の家	評価対象年度	平成27年度
事業者名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者名 川崎市青少年の家共同運営事業体</li> <li>・代表者名 公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長 金井 則夫 川崎市中区今井南町514-1</li> <li>・構成員名 特定非営利活動法人 教育活動総合サポートセンター 理事長 宮田 進 川崎市高津区下作延5-11-8</li> </ul>	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成23年4月1日 ～ 平成28年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

### 2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 36,502人 (H26年度:40,819人) 内、宿 泊:25,930人(H26年度:26,845人) 内、日帰り:10,572人(H26年度:13,747人)	②年間延べ利用団体数 826団体 (H26年度:870団体) 内、宿 泊:362団体(H26年度:385団体) 内、日帰り:464団体(H26年度:485団体)																														
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: right;">単位:円</td> </tr> <tr> <td>1 収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  指定管理料</td> <td style="text-align: right;">74,942,539</td> </tr> <tr> <td>  利用料金収入</td> <td style="text-align: right;">13,195,675</td> </tr> <tr> <td>  その他収入</td> <td style="text-align: right;">2,167,308</td> </tr> <tr> <td>  合 計</td> <td style="text-align: right;">90,305,522</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">8,935,646</td> </tr> <tr> <td>  光熱水費</td> <td style="text-align: right;">23,731,327</td> </tr> <tr> <td>  委託費</td> <td style="text-align: right;">31,124,668</td> </tr> <tr> <td>  消耗品費</td> <td style="text-align: right;">789,896</td> </tr> <tr> <td>  修繕費</td> <td style="text-align: right;">1,051,920</td> </tr> <tr> <td>  その他経費</td> <td style="text-align: right;">24,490,847</td> </tr> <tr> <td>  合 計</td> <td style="text-align: right;">90,124,304</td> </tr> <tr> <td>差引</td> <td style="text-align: right;">181,218</td> </tr> </table>			単位:円	1 収入		指定管理料	74,942,539	利用料金収入	13,195,675	その他収入	2,167,308	合 計	90,305,522	2 支出		人件費・賃金	8,935,646	光熱水費	23,731,327	委託費	31,124,668	消耗品費	789,896	修繕費	1,051,920	その他経費	24,490,847	合 計	90,124,304	差引	181,218
	単位:円																															
1 収入																																
指定管理料	74,942,539																															
利用料金収入	13,195,675																															
その他収入	2,167,308																															
合 計	90,305,522																															
2 支出																																
人件費・賃金	8,935,646																															
光熱水費	23,731,327																															
委託費	31,124,668																															
消耗品費	789,896																															
修繕費	1,051,920																															
その他経費	24,490,847																															
合 計	90,124,304																															
差引	181,218																															
サービス向上の取組	利用者アンケートを実施し、利用者の意見を反映させサービスの向上に努めている。また、苦情対応マニュアルを基に研修を行い、利用者や近隣住民に適切に対応している。																															

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	3	3
	(評価の理由)	概ね計画どおりの事業が実施されていた。地域のボランティア等と協力しながら事業を実施し、自主事業も積極的に実施している。利用者数は対前年度比約10%の減、対事業計画比約11%の減となった。計画どおり実施しているが、参加団体、参加人数とも減少している。ただし、対第1期比では、第2期は約8%増となっている。 【参考】第1期(平成18年度～平成22年度)年度平均利用者数:37,019人。第2期(平成23年度～平成27年度)年度平均利用者数:39,975人。			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組がなされているか			
	(評価の理由)	仕様に基づき、適正な会計処理が行われた。指定管理終了に伴い、指定管理の引継に係る経費支出等も適正に執行している。			

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	3	3
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	3	6
把握したニーズが事業運営へ反映されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>利用者アンケートを実施して意見、要望等を反映させ、改善内容等をホームページ上に掲載し、利用者への周知も図った。ホームページでの空き状況の閲覧や地域の子ども達への施設開放、備品貸出方法の変更など、利用者のニーズに沿ったサービス提供を行っている。</p> <p>利用者に対する接遇については接遇研修を実施し、苦情対応マニュアルに基づき、適切に対応をしている。</p> <p>学校と連携して体験的学習や宿泊体験活動などを実施した。また、自主事業を中心とした参加者相互の交流や、高齢者と子ども達の世代間交流など地域と連携した行事も実施した。</p> <p>青少年の家フェスタは学校、行政機関、地域団体、地域住民等と連携して事業の充実に取り組み、約1,000人が参加するイベントとなった。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	3	6
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <p>利用者の安全、安心、快適な利用を確保するため、適正な職員配置がされている。</p> <p>年間を通して概ね予定どおりの研修が計画的に実施された。</p> <p>また、個人情報の取扱いについても研修を行うなど、適切な運用がなされた。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
		利用者の安全確保			
	防犯対策	利用者の安全確保のため、工夫がされているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応が行われているか			
	災害への対応	施設の防犯のための工夫がされているか	5	3	3
緊急時のマニュアル等が整備されているか					
<p>(評価の理由)</p> <p>関係法規に基づく保守点検を実施し、適切に施設を維持管理している。</p> <p>災害時、緊急時のマニュアルが整備され、防災設備の取扱訓練等、適切な対応がされている。</p> <p>宿泊利用者に対して施設の防災対策や避難経路、緊急放送等の説明を行うことにより、安心感を持たせるとともに、緊急時の混乱防止も図っている。</p>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計	62	評価ランク	C
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価

A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、  
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、  
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>これまでの実績を活かし、学校や地域との連携して充実した事業を展開してきた。</p> <p>また、ボランティア・指導者の育成においては、青少年の自主性を育てるなど、専門性を十分に発揮した事業展開を行っている。</p> <p>自主事業も年間をとおして数多く実施し、地域との交流等を積極的に行ってきた。</p> <p>地域と連携しながら事業を展開し、青少年の健全な育成を図るといった目的は果たしているが、利用者の減少に対して、更に積極的に取り組むことが望まれる。</p>
---

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>2期10年にわたる指定管理が終わり、新たな法人による管理運営が始まるが、これまでの地域や学校との連携は、今後も継続すべき事項であると考えている。川崎市青少年の家共同運営事業体がこれまで培ってきた管理・運営に係るノウハウ等を次期指定管理者に引き継ぐとともに、指定管理者が変更した後も、近隣地域とのネットワークを活用した地域連携や、意見交換の場を設け、意見等を取り入れて事業に反映させ、更なる利用者サービス向上や施設を利用しやすい雰囲気づくりを行い、次期指定管理者による創意工夫により、より良い施設となるよう努めることが望まれる。</p> <p>また、当該評価の対象となっている平成27年度は、大きな事故等はなかったため、来年度以降の指定管理者についても利用者の安全・安心を第一に考えた事業・運営を実施し、公の施設の管理運営という業務の性質や利用者の観点を踏まえた管理運営に取り組むよう指導を行っていく。</p>
---